

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2006. 6. 17

人・街・ながた震災資料室

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

大時計、炊き出し釜などを展示

サロンコンサートも企画、「のじぎく国体」で震災資料室展

いよいよ「のじぎく国体」まで100日足らずになった。「寅さん長田に帰る一阪神淡路大震災の記録展」の企画も具体的な準備段階に入った。全国の皆さんに関心を持ってもらうために、神戸や長田の街のPRや映像を使った表現も検討しており、7月中に内容を固めるスケジュールである。

☆～♪～☆～♪～☆～♪～☆～♪～☆～♪～

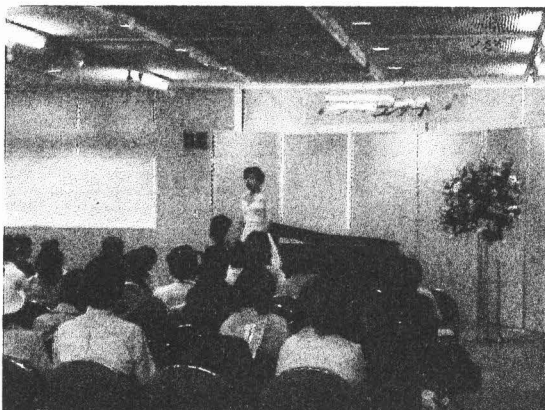
サロンコンサートを予定

来る10月4日(水)に区役所7階区民ギャラリーで第170回サロンコンサートが開催されます。

このサロンコンサートは、みなさんに気軽に音楽にふれていただく場として、また、若手音楽家を中心とした発表の場として、毎月1回

(2月は3回)12時20分から12時50分、長田文化協議会主催で開催しており、区内外の多くの方々に楽しんでいただいています。

ピアノ、クラリネット、マリンバ、ソプラノ独唱などで、クラシックから童謡までさまざまな曲目があり、なじみのある曲も多数演奏されますので、お昼休みにぜひ一度7階まで足を運んでみてください。



☆～♪～☆～♪～☆～♪～☆～♪～☆～♪～

避難所日誌について

当資料室に、震災一次資料の避難所日誌が保存してある。資料室発足の際、6つの班に分かれ資料収集を行い、避難所担当班は、当時避難所であった80ヶ所の学校や施設へお願いに行き、他都市班・自治労班は応援に来てくださった方々へ協力と呼びかけた。貴重な資料や記録などを快く寄贈してくださった方々にこの場を借り、改めてお礼を述べたい。本当にありがとうございます。

現在保管している避難所資料は、長楽小学校・蓮池小学校・神楽小学校・御蔵小学校・二葉小学校・室内小学校・真陽小学校・池田小学校・西代中学校・荻藻中学校・真陽中学校・大橋中学校・駒ヶ林中学校・長田工業高校・県立兵庫高校・宮川地域福祉センター・県立文化体育館・新長田勤労市民センター・南駒栄公園・長田区役所旧庁舎・コスモ配送センターと21ヶ所あり、震災当初の生々しい記録が記されている。

学外インターンシップを終えて——

長田区での学習をもとに考動を

6月14日午後2時から2時間を予定して、神戸学院大学の学外インターンシップを長田区役所で行った。

当日は水本ゼミの3回生の皆さん約20名に対して長田区役所より3名の職員が講師となり講義を行った。開講のあいさつで大井総務課長より、今の区役所の業務は「いかにして区民の方達と一緒に取り組んで行くか」を考えながら遂行していることが話された。次に人・街・ながた震災資料室の清水代表より人口の推移や、福原京の時代、湊川合戦の時代、大正時代から現在の地図を通じ、区内の地名の由来の話など長田区の歴史変遷について説明があった。次に近藤事業推進係長より、面接試験での自身の経験談と今の神戸市役所が求めている職員像（挑戦・考動・スピード・遂行）について話があり、就職活動に向け、熱心に聞く姿が印象的だった。最後に武貞庶務係長より、「市政の先端」としての区役所の業務について、区・福祉事務所・保健所と所

管が分かれていたのが、区長をトップとして、3部制になり、現在の2部制に変遷したことや各課の業務について話があった。

その後、2班に分かれ、カウンターの外からではあるが、庁内を歩き、市民と職員の対応の現場の様子を直に見て回った。学生の皆さんは、普段の生活の中では、区役所を訪れることはほとんどなかったようだが、ここは、「ゆりかごから墓場まで」私たちの生活の中のどこかでかかわりのあるところであることを感じてくれたのではないかと思う。案内役として同行した私も改めて区役所の業務範囲の広さを感じた。

この学外研修を終わって、長田区を、神戸市を、そして自分のまわりのこと、普段考えていることも違った視点で見直し、そして取り巻く人たちと一緒に考動していくことを日々の中で考えるきっかけとなってくれればと思う。次回は長田区の街並みを見て回ろうとの意見も出ている。

交 流—見学に来られました
上之郷中学校修学旅行生の皆さん
(岐阜県可児郡御嵩町)

のじぎく兵庫国体

2006 in KOBE

開催期間

平成18年9月30日(土)

}

10月10日(火)



震災資料や寅さんに関する資料を集めています。
ご協力をおねがいします。

【お願い】寅さん関係は、第48作に関するものに
限らせていただきます。 保存し、公開させていただ
くことがあります。